

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2243 号

Radio-sensitization using hydrogen peroxide in patients with uterine cancer

子宮頸がんに対するオキシドールを用いた化学放射線治療

胡 蓉（こ よう）

博士（医学）

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、腔内照射併用困難な子宮頸癌において、オキシドールによる増感が安全で有効なことを始めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。近年、オキシドールによる放射線増感作用が報告されている。表在性腫瘍、乳癌、肝臓癌に対して、この療法の有効性が報告されている。進行子宮頸癌の標準療法は、同時化学放射線療法 (CCRT) に腔内照射を加えるものである。腔内照射を行える施設が少なく通院が困難で実施できない症例、他の合併症のため腔内照射が行えない症例、早期でも手術できない症例も存在する。そこで腔内照射ができない症例に CCRT 実施時に、週 2 回 3% オキシドールに浸したガーゼを腔内に挿入し、子宮頸癌に対するオキシドールによる放射線増感作用の安全性及び有効性を検討した。オキシドールを投与し CCRT を行った 17 症例では、従来報告されている CCRT+腔内照射と同程度の生存率が得られた。急性期有害事象は G3 以上のものは認められず、CCRT 終了後 6 カ月経過した 15 例の症例では明らかな晩期有害事象を認められなかった。本研究結果により、オキシドールには子宮頸癌に対する同時化学放射線療法に増感作用があり、治療に有効である可能性が示唆された。よって、本論文は博士（医学）の学位を授与するに値するものと判定した。